

(別添1)

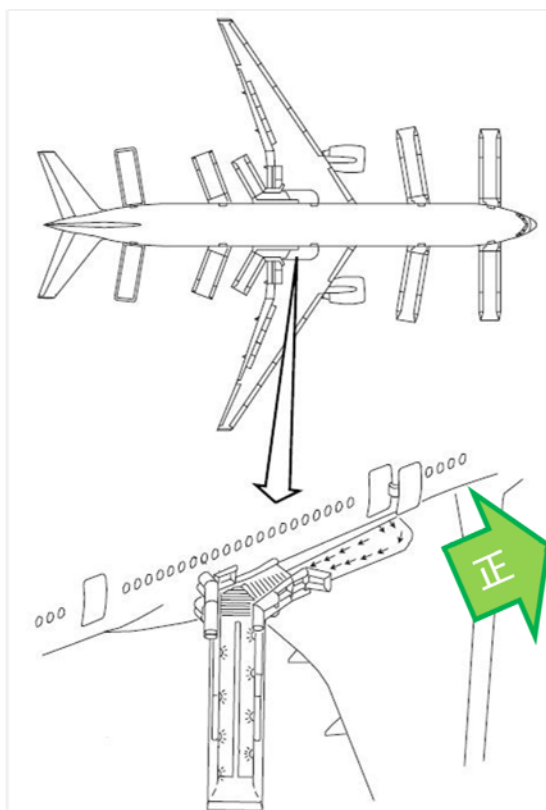
(株) 日本航空インターナショナルのボーイング式777型機の
脱出用スライドに関する不具合について (概要)

1. 1月27日、(株) 日本航空インターナショナル (JAL) が運航するボーイング式777型1機2箇所において、脱出用スライドの展開試験をサンプリングで実施したところ、スライドに取り付くストラップ (紐) が本体に引っかかったままとなり、スライドが完全に展開しない事例が発生した。
2. 同社が当該スライドについて調べたところ、翼上面部ストラップとスライド部ストラップにそれぞれ取り付けるべきピンが逆に取り付けられており、その結果、適切にストラップが解けずにスライドが適正に展開しなかったことがわかった。また、不適切な整備作業は2008年2月12日に委託先業者 (株式会社東京機内用品製作所 : TKY) において行われていたことが判明した。
3. JALでは1月29日までに不具合の疑われるスライド13点全ての取り下ろし検査を実施し、他に同様の不具合がないことを確認している

(参考)

全日本空輸 (ANA) では、別の事業者へ作業を委託しており、本件不具合による直接の影響はない。

<参考図>



適切に展開した状態



適切に展開しなかった状態



ストラップが解けずに引っかかっている状態

